

# ポスターセッション概観図

第1日 11月29日(日) ポスター会場(リーガロイヤルホテル広島 4F ロイヤルホール3)

<b>21:00~21:25</b>			講演時間 5分(発表3分、討論2分)
<b>Pier-1-1 bevacizumab 1</b>			
座長: 秦 暢宏			
21:00~21:05	P1-1-1	舟越 勇介	初回治療時 Bevacizumab 承認後の Glioblastoma の再発パターンと予後の変化
21:05~21:10	P1-1-2	瀧川 浩介	初発 GBM に対する Bevacizumab 治療の早期効果判定
21:10~21:15	P1-1-3	半田 肇	再発膠芽腫に対する Bevacizumab の治療成績と特徴的な画像所見に関する検討
21:15~21:20	P1-1-4	三月田 祐平	膠芽腫再発時におけるベバシズマブ併用放射線再照射の有用性
21:20~21:25	P1-1-5	佐藤 憲市	再発膠芽腫に対するガンマナイフとベバシズマブを併用した AVAgamma 療法の治療成績
<b>21:25~21:50</b>			講演時間 5分(発表3分、討論2分)
<b>Pier-1-2 bevacizumab 2</b>			
座長: 齋藤 太一			
21:25~21:30	P1-2-1	坪井 伸成	Karnofsky Performance Status の低い初発悪性神経膠腫に対する bevacizumab の使用経験
21:30~21:35	P1-2-2	近 貴志	膠芽腫術後 Stupp regimen が完遂できなかった患者に対する Bevacizumab 投与
21:35~21:40	P1-2-3	峰晴 陽平	成人脳腫瘍患者における脳血管障害の頻度と治療との関連
21:40~21:45	P1-2-4	野田 真利子	悪性神経膠腫におけるベバシズマブ投与後の脳虚血性合併症
21:45~21:50	P1-2-5	内田 裕之	Bevacizumab 投与後に発生した脳梗塞についての後方視的検討

# ポスターセッション概観図

第1日 11月29日(日) ポスター会場(リーガロイヤルホテル広島 4F ロイヤルホール3)

<b>21:00~21:25</b>			講演時間 5分(発表3分、討論2分)
<b>Pier-2-1 glioma, basic 1</b>			
座長: 棗田 学			
21:00~21:05	P2-1-1	渡邊 孝	神経膠芽腫においてメチオニン代謝経路がアミノレブリン酸誘発蛍光強度に及ぼす影響
21:05~21:10	P2-1-2	平野 秀一郎	膠芽腫における annexin A2-STAT3-oncostatin M receptor axis を介した表現型シフト
21:10~21:15	P2-1-3	山田 哲也	メマンチンは MGMT 発現の抑制を介してテモゾロミドの抗腫瘍効果を増強する
21:15~21:20	P2-1-4	牧野 圭悟	脳腫瘍溶解ヘルペスウイルスの併用によるベバシズマブ誘発性グリオーマ浸潤の抑制
21:20~21:25	P2-1-5	川嶋 俊幸	乏突起膠細胞は Angiopoietin-2 シグナルを介して膠芽腫細胞の浸潤を促進する
<b>21:25~21:50</b>			講演時間 5分(発表3分、討論2分)
<b>Pier-2-2 glioma, basic 2</b>			
座長: 深見 忠輝			
21:25~21:30	P2-2-1	小川 大輔	(p)RR を抑制する microRNA のグリオーマに対する効果について
21:30~21:35	P2-2-2	八幡 俊男	膠芽腫幹細胞が高発現する CD146 の機能とその阻害による腫瘍増殖抑制機構の検討
21:35~21:40	P2-2-3	田中 慎吾	膠芽腫細胞の RBPJ 抑制による IL-6-STAT3 を介した抗腫瘍効果と細胞表面マーカーへの影響
21:40~21:45	P2-2-4	木嶋 教行	グリオブラストーマの浸潤における ALCAM の機能的役割についての検討
21:45~21:50	P2-2-5	増井 憲太	IDH 野生型膠芽腫におけるヒストンメチル化(H3K27me3)の新規制御機構とその意義

# ポスターセッション概観図

第1日 11月29日(日) ポスター会場(リーガロイヤルホテル広島 4F ロイヤルホール3)

<b>21:00~21:25</b>		講演時間 5分(発表3分、討論2分)	
<b>Pier-3-1 glioma, basic 3</b>			
座長: 本村 和也			
21:00~21:05	P3-1-1	石田 穰治	びまん性内在性橋神経膠腫モデルに対するMRガイド下集束超音波を用いた薬剤送達強化
21:05~21:10	P3-1-2	笹目 丈	分子標的治療前後の epithelioid glioblastoma PDX ペアモデルによる薬剤耐性機序の解明
21:10~21:15	P3-1-3	安達 淳一	グリオーマにおける Droplet Digital PCR 法を用いた高感度 TERT 遺伝子変異解析
21:15~21:20	P3-1-4	畝田 篤仁	腫瘍微小環境における多細胞間のパラクライン相互作用を介した分化型膠芽腫細胞の役割
21:20~21:25	P3-1-5	大場 茂生	ホスホグリセリン酸ムターゼ1はWIP1を介してDNA損傷の修復に関与する。
<b>21:25~21:50</b>		講演時間 5分(発表3分、討論2分)	
<b>Pier-3-2 glioma, basic 4</b>			
座長: 齋藤 竜太			
21:25~21:30	P3-2-1	山室 俊	テモゾロミド耐性獲得後再発膠芽腫に対するニトロソウレア系薬剤による救済療法の検討
21:30~21:35	P3-2-2	佐々木 貴浩	びまん性正中グリオーマに対する、EZH2阻害剤を用いた Convection enhanced delivery
21:35~21:40	P3-2-3	武井 淳	樹状細胞免疫治療を併用した初発膠芽腫患者由来腫瘍細胞の遺伝子発現解析
21:40~21:45	P3-2-4	音琴 哲也	グリオーマ幹細胞における異数性の生物学的および病理学的意義の検討
21:45~21:50	P3-2-5	河内 大輔	新規ALK阻害剤アレクチニブとセリチニブはヒト膠芽腫細胞に対し細胞死を誘導する

## ポスターセッション概観図

第1日 11月29日(日) ポスター会場(リーガロイヤルホテル広島 4F ロイヤルホール3)

<b>21:00~21:25</b>			講演時間 5分(発表3分、討論2分)
<b>Pier-4-1 BRAF, clinical</b>			
座長: 有田 英之			
21:00~21:05	P4-1-1	林 貴啓	特異的な PET 所見を示した BRAF V600E 変異 PLNTY の1症例
21:05~21:10	P4-1-2	中川 智義	大脳半球に生じた脂肪細胞と黄色腫様泡沫細胞を伴う分類不能なグリア間葉系腫瘍の一例
21:10~21:15	P4-1-3	永井 健太	2年の経過で悪性転化した多形黄色星細胞腫の1例
21:15~21:20	P4-1-4	石田 裕樹	限局性嚢胞性腫瘍から悪性転化し出血を繰り返した BRAF V600E 変異腫瘍の一例
21:20~21:25	P4-1-5	田中 俊英	急速な悪性転化をきたした高齢者 pilocytic astrocytoma の1例
<b>21:25~21:55</b>			講演時間 5分(発表3分、討論2分)
<b>Pier-4-2 germ cell tumor</b>			
座長: 金森 政之			
21:25~21:30	P4-2-1	高野 元気	頭蓋内胚細胞性腫瘍治療後に残存する嚢胞内拡散強調像高信号病変の臨床的意義
21:30~21:35	P4-2-2	高原 健人	CNS 胚腫再発に対しチオテパ・メルファランによる大量化学療法を行なった成人の1例
21:35~21:40	P4-2-3	足立 好司	CARE 療法後の神経下垂体部ジャーミノーマに発生した無汗症の評価
21:40~21:45	P4-2-4	青木 一晃	乳児の後頭蓋窩未熟奇形腫の一例
21:45~21:50	P4-2-5	長井 健一郎	gemcitabine + paclitaxel 療法が奏功した再発頭蓋内胚細胞腫瘍の一例
21:50~21:55	P4-2-6	富山 新太	脱ユビキチン化経路は中枢性高悪性度胚細胞腫の新規治療標的となり得る

# ポスターセッション概観図

第1日 11月29日(日) ポスター会場(リーガロイヤルホテル広島 4F ロイヤルホール3)

<b>21:00~21:25</b> 講演時間 5分(発表3分、討論2分)			
<b>Pier-5-1 tumor treating field</b>			
座長: 貞廣 浩和			
21:00~21:05	P5-1-1	笹尾 亮太	当院における腫瘍電場療法の経験: 有効例の実感と長期装用への工夫
21:05~21:10	P5-1-2	都築 俊介	初発膠芽腫に対する NovoTTF 療法の治療経験と成績
21:10~21:15	P5-1-3	貞廣 浩和	オンラインサポートを用いた交流電場腫瘍治療システムの導入
21:15~21:20	P5-1-4	林 宣秀	高齢かつ独居の膠芽腫患者に対する交流電場療法の導入経験
21:20~21:25	P5-1-5	齋藤 紀彦	膠芽腫に対する Novo-TTF 療法の臨床的問題点とその対応
<b>21:25~21:45</b> 講演時間 5分(発表3分、討論2分)			
<b>Pier-5-2 glioma, clinical</b>			
座長: 新田 雅之			
21:25~21:30	P5-2-1	柏木 秀基	膠芽腫手術症例での周術期合併症と当院での周術期管理
21:30~21:35	P5-2-2	宇塚 岳夫	Anaplastic astrocytoma の標準治療は何か?
21:35~21:40	P5-2-3	藤井 雄	BCNU wafer 留置による脳浮腫および周術期痙攣との関係
21:40~21:45	P5-2-4	山本 洋平	悪性神経膠腫の生検・部分摘出例の予後因子の解析
<b>21:45~22:05</b> 講演時間 5分(発表3分、討論2分)			
<b>Pier-5-3 treatment of higher grade glioma</b>			
座長: 川西 裕			
21:45~21:50	P5-3-1	石川 栄一	膠芽腫患者に対する自家ワクチン療法における予後因子の解析
21:50~21:55	P5-3-2	川西 裕	初発悪性神経膠腫に対する WT1-W10 免疫療法
21:55~22:00	P5-3-3	片山 耕輔	テモゾロミドによる副作用の効果の検討 - 先発品と後発品の差 -
22:00~22:05	P5-3-4	赤崎 安晴	小児難治性脳腫瘍に対する樹状細胞免疫療法の臨床研究

# ポスターセッション概観図

第1日 11月29日(日) ポスター会場(リーガロイヤルホテル広島 4F ロイヤルホール3)

<b>21:00~21:25</b> 講演時間 5分(発表3分、討論2分)			
<b>Pier-6-1 PCNSL 1</b>			
座長: 梶井 泰朋			
21:00~21:05	P6-1-1	永根 基雄	再発中枢神経系原発悪性リンパ腫に対する薬物療法の治療成績と展望
21:05~21:10	P6-1-2	吉田 道春	初発高齢者中枢神経系原発悪性リンパ腫に対するR-MPV-A療法の長期治療経験
21:10~21:15	P6-1-3	山口 崇	低 KPS 高齢者中枢神経原発悪性リンパ腫に対するメソトレキサート再投与と維持療法
21:15~21:20	P6-1-4	犬飼 円	非典型的画像所見を示す原発性中枢神経系悪性リンパ腫の病理組織学的特徴
21:20~21:25	P6-1-5	大澤 祥	生検困難な中枢神経原発悪性リンパ腫疑い症例に対する臨床診断結果の検証
<b>21:25~21:45</b> 講演時間 5分(発表3分、討論2分)			
<b>Pier-6-2 PCNSL 2</b>			
座長: 神部 敦司			
21:25~21:30	P6-2-1	藤井 謙太郎	当院における中枢神経系原発悪性リンパ腫に対する多剤併用療法による治療成績
21:30~21:35	P6-2-2	竹崎 達也	中枢神経系原発悪性リンパ腫に対するリツキシマブ併用化学療法の治療成績
21:35~21:40	P6-2-3	小林 啓一	再発・難治性中枢神経系原発悪性リンパ腫に対するチラブルチニブの治療経験
21:40~21:45	P6-2-4	長南 雅志	Isolated CNS relapse of systemic lymphoma に対する R-MPV-A 療法の治療成績: 2 例報告
<b>21:45~22:10</b> 講演時間 5分(発表3分、討論2分)			
<b>Pier-6-3 PET-CT</b>			
座長: 三輪 和弘			
21:45~21:50	P6-3-1	柳澤 俊介	初発神経膠腫の予後予測における C11-methionine PET/CT の応用
21:50~21:55	P6-3-2	別府 高明	<sup>11</sup> C-methionine PET によるテモゾロマイド維持療法終了の決定
21:55~22:00	P6-3-3	井上 明宏	膠芽腫摘出術における Methionine-PET の意義: Met 集積率と浸潤性腫瘍幹細胞の関連性
22:00~22:05	P6-3-4	中条 公輔	WHO2016 脳腫瘍分類における初発神経膠腫に対する <sup>11</sup> C-メチオニン PET の診断性能
22:05~22:10	P6-3-5	三宅 啓介	2016 WHO 分類に基づいた脳腫瘍診断における PET 検査の有用性

## ポスターセッション概観図

第2日 11月30日(月) ポスター会場(リーガロイヤルホテル広島 4F ロイヤルホール3)

<b>21:00~21:30</b>			講演時間 5分(発表3分、討論2分)
<b>Pier-7-1 precision medicine</b>			
座長: 峰晴 陽平			
21:00~21:05	P7-1-1	三輪 和弘	脳腫瘍に対する網羅的がんゲノム解析をはじめました
21:05~21:10	P7-1-2	田中 一寛	神戸大学医学部附属病院におけるがんゲノム医療の体制と現状
21:10~21:15	P7-1-3	五味 玲	小児脳腫瘍における遺伝子診断の意義
21:15~21:20	P7-1-4	棗田 学	ゲノムパネルを用いた脳腫瘍プレシジョンメディスンの現状と展望
21:20~21:25	P7-1-5	溝口 昌弘	脳腫瘍領域におけるがんゲノム医療への取り組み
21:25~21:30	P7-1-6	柴原 一陽	小児・AYA 世代の再発悪性脳腫瘍に対する遺伝子パネル検査の臨床応用
<b>21:30~21:55</b>			講演時間 5分(発表3分、討論2分)
<b>Pier-7-2 clinical imaging</b>			
座長: 山崎 文之			
21:30~21:35	P7-2-1	代田 雅美	Amide Proton Transfer (APT) image は神経膠腫の画像診断に有用である
21:35~21:40	P7-2-2	山内 貴寛	APT 高信号はグリオーマの FLAIR 異常信号における腫瘍浸潤領域を示唆する
21:40~21:45	P7-2-3	中江 俊介	MR spectroscopy (MRS) によるグリオーマ関連てんかんの発症予測および発症機序の検討
21:45~21:50	P7-2-4	橋口 充	術前 MRS を用いたグルタミン酸測定は膠芽腫患者の術後てんかん発症予測に有用
21:50~21:55	P7-2-5	松田 憲一郎	膠芽腫の術前 MRI における FLAIR 高信号域の ADC と病理組織像

# ポスターセッション概観図

第2日 11月30日(月) ポスター会場(リーガロイヤルホテル広島 4F ロイヤルホール3)

<b>21:00~21:20</b>		講演時間 5分(発表3分、討論2分)	
<b>Pier-8-1 liquid biopsy</b>			
座長: 高安 武志			
21:00~21:05	P8-1-1	藤岡 寛	髄液中 cell free DNA 解析による diffuse glioma の分子診断
21:05~21:10	P8-1-2	山ノ井 優	神経膠腫に対する脳脊髄液の化学的診断マーカー
21:10~21:15	P8-1-3	高安 武志	脳胚細胞性腫瘍の鑑別診断における髄液中 ctDNA および代謝産物解析
21:15~21:20	P8-1-4	山岸 夢希	中枢神経系悪性リンパ腫における髄液中特異的 遺伝子変異検出による液性診断の有用性
<b>21:20~21:40</b>		講演時間 5分(発表3分、討論2分)	
<b>Pier-8-2 follow up</b>			
座長: 浅野 研一郎			
21:20~21:25	P8-2-1	久ヶ澤 一葉	脳腫瘍患者における患者報告アウトカム評価を用いた健康関連 QoL 解析
21:25~21:30	P8-2-2	中村 帆南美	経大脳半球間裂法による側脳室前半部病変切除術後の高次脳機能の変化について
21:30~21:35	P8-2-3	田村 有希恵	初発膠芽腫のフォローアップとその注意点
21:35~21:40	P8-2-4	山下 大介	老化と社会的孤立がもたらす脳腫瘍悪性化メカニズム
<b>21:40~22:10</b>		講演時間 5分(発表3分、討論2分)	
<b>Pier-8-3 oligodendroglioma and NF1</b>			
座長: 松谷 智郎			
21:40~21:45	P8-3-1	大澤 匡	分子学的に定義された Oligodendroglial tumor の予後と再発パターンについての検討
21:45~21:50	P8-3-2	松谷 智郎	1p/19q 共欠失神経膠腫に対する治療時期の違いによる効果の検討
21:50~21:55	P8-3-3	米澤 大	1p/19q co-deleted glioma における至適維持化学療法
21:55~22:00	P8-3-4	佐々木 慶介	IDH-1 と IDH-2 の両方に変異を認めた Oligodendroglioma の一例
22:00~22:05	P8-3-5	伊師 雪友	異なる TERT promoter 点変異を同時に有した乏突起膠腫の一例
22:05~22:10	P8-3-6	吉田 光一	Neurofibromatosis Type I を合併する high grade glioma 症例の検討



# ポスターセッション概観図

第2日 11月30日(月) ポスター会場(リーガロイヤルホテル広島 4F ロイヤルホール3)

<b>21:00~21:25</b> 講演時間 5分(発表3分、討論2分)			
<b>Pier-9-1 CNS tumors, basic</b>			
座長: 大野 誠			
21:00~21:05	P9-1-1	松井 恭澄	転写因子 RUNX の阻害作用を利用した髄芽腫の新規治療開発
21:05~21:10	P9-1-2	工藤 琢巳	解糖系酵素である PGK1 は悪性髄膜腫において重要な役割を果たしている
21:10~21:15	P9-1-3	山崎 慎太郎	髄膜腫の in vitro 研究に有用な新規オルガノイドモデルの樹立
21:15~21:20	P9-1-4	中野 智行	エリブリンは悪性髄膜腫マウスモデルの生存期間を延長する
21:20~21:25	P9-1-5	横上 聖貴	遺伝子導入を行わずに持続培養が可能であった良性下垂体腺腫細胞の網羅的解析
<b>21:25~21:45</b> 講演時間 5分(発表3分、討論2分)			
<b>Pier-9-2 stem cell, basic</b>			
座長: 白畑 充章			
21:25~21:30	P9-2-1	堀川 真	ヒト悪性グリオーマに対する HSV 由来 TK 遺伝子導入ヒト乳児歯髄幹細胞の治療応用の可能性
21:30~21:35	P9-2-2	藤森 健司	Pro renin receptor antibody regulates glioblastoma stemness
21:35~21:40	P9-2-3	山本 泰資	ヒト脱落歯髄幹細胞の悪性グリオーマに対する遊走能
21:40~21:45	P9-2-4	北村 洋平	乳癌の転移性脳腫瘍に対する幹細胞治療
<b>21:45~22:00</b> 講演時間 5分(発表3分、討論2分)			
<b>Pier-9-3 meningioma</b>			
座長: 中洲 庸子			
21:45~21:50	P9-3-1	中洲 敏	良性髄膜腫の悪性化に関する観察研究のメタアナリシス
21:50~21:55	P9-3-2	高井 聡	fluoride-labeled boronophenylalanine PET による再発性髄膜腫に対する BNCT 後効果評価
21:55~22:00	P9-3-3	平山 航輔	妊娠中に発生した海綿静脈洞部髄膜腫の2例

## ポスターセッション概観図

第2日 11月30日(月) ポスター会場(リーガロイヤルホテル広島 4F ロイヤルホール3)

<b>21:00~21:25</b>		講演時間 5分(発表3分、討論2分)	
<b>Pier-10-1 T2-FLAIR mismatch and VHL</b>			
座長: 日宇 健			
21:00~21:05	P10-1-1	木下 学	T2-FLAIR mismatch sign は IDH-mt 星細胞腫が T1, T2 緩和時間が極めて長いことに起因する
21:05~21:10	P10-1-2	樋口 芙未	初発・再発神経膠腫における Mismatch Repair 発現欠損の免疫組織染色による評価
21:10~21:15	P10-1-3	菅野 洋	VHL に伴う血管芽腫における VHL-JAK-STAT signaling pathway
21:15~21:20	P10-1-4	日宇 健	血管芽腫に対する術前塞栓術の意義について
21:20~21:25	P10-1-5	南部 翔平	中枢神経系血管芽腫 VHL 病事例と非 VHL 病事例の違い: 当院 83 例の解析
<b>21:25~21:55</b>		講演時間 5分(発表3分、討論2分)	
<b>Pier-10-2 pediatric tumors</b>			
座長: 岡 秀宏			
21:25~21:30	P10-2-1	五味 玲	小児脳腫瘍の晩期障害の検討 髄芽腫と胚細胞腫瘍の比較から
21:30~21:35	P10-2-2	岡 秀宏	Extra-parenchymal (Peripheral) Atypical Teratoid / Rhabdoid Tumors
21:35~21:40	P10-2-3	田口 慧	腫瘍による閉塞性水頭症に対して ETV 施行後に腫瘍内出血を来した AT/RT の 2 例
21:40~21:45	P10-2-4	山下 真治	動眼神経より発生した atypical teratoid rhabdoid tumor の一例
21:45~21:50	P10-2-5	下田 由輝	播種をきたした退形成性上衣腫に対して低用量エトポシド内服治療が有効であった 1 症例
21:50~21:55	P10-2-6	栴田 博之	診断に Sox10 および Schwann/2E が有用であった Olfactory groove schwannoma の 1 例

# ポスターセッション概観図

第2日 11月30日(月) ポスター会場(リーガロイヤルホテル広島 4F ロイヤルホール3)

<b>21:00~21:30</b>		講演時間 5分(発表3分、討論2分)	
<b>Pier-11-1 metastasis 1</b>			
座長: 池田 潤			
21:00~21:05	P11-1-1	羽柴 哲夫	術後照射の観点から見た転移性脳腫瘍の治療成績と再発様式の検討
21:05~21:10	P11-1-2	浅野目 卓	転移性脳腫瘍に対するガンマナイフ定位照射後に開頭手術を要した症例に関する検討
21:10~21:15	P11-1-3	出口 彰一	成人肉腫脳転移の手術成績と予後予測: 多施設共同後方視的研究
21:15~21:20	P11-1-4	池内 佑介	転移性脳腫瘍摘出術後の脳槽/脳室内の air 混入は頭蓋内再発の予測因子となるか
21:20~21:25	P11-1-5	飯田 倫子	転移性脳腫瘍における SWI を用いた予後予測検討
21:25~21:30	P11-1-6	川邊 拓也	Gamma Knife Icon による乳癌および腎癌脳転移に対する初期治療経験
<b>21:30~22:00</b>		講演時間 5分(発表3分、討論2分)	
<b>Pier-11-2 metastasis 2 and others</b>			
座長: 三矢 幸一			
21:30~21:35	P11-2-1	田部井 勇助	血管新生阻害剤により再発と放射線壊死との鑑別に苦慮した転移性脳腫瘍の1例
21:35~21:40	P11-2-2	三海 正隆	出血を繰り返した食道原発転移性脳腫瘍の一例
21:40~21:45	P11-2-3	阿知波 孝宗	髄膜癌腫症 xenograft model を用いた腫瘍細胞環境間での遺伝子発現差解析
21:45~21:50	P11-2-4	福原 宏和	神経内視鏡生検にて診断し得た Lymphomatosis cerebri の3例
21:50~21:55	P11-2-5	大上 史朗	頭蓋骨病変を伴わずに、脳内多発病変を呈した成人ランゲルハンス細胞組織球症の1例
21:55~22:00	P11-2-6	三宅 勇平	中枢神経原発悪性リンパ腫患者由来細胞株を用いた Ibrutinib 不応・耐性機序の探索

## ポスターセッション概観図

第2日 11月30日(月) ポスター会場(リーガロイヤルホテル広島 4F ロイヤルホール3)

<b>21:00~21:20</b>				講演時間 5分(発表3分、討論2分)
<b>Pier-12-1 clinical controversies 1</b>				
座長: 篠山 隆司				
21:00~21:05	P12-1-1	桢中 正博	脳室内腫瘍に対する内視鏡下5ALA蛍光診断の有用性についての検証	
21:05~21:10	P12-1-2	内田 将司	下肢MEPモニタリングで偽陰性を生じた腫瘍摘出術の1例	
21:10~21:15	P12-1-3	福井 敦	成人脳幹・小脳深部の腫瘍性病変に対する定位生検の有用性—単施設28例の報告	
21:15~21:20	P12-1-4	尾崎 航	メチオニンPETを用いた膠芽腫に対する拡大切除の治療成績	
<b>21:25~21:50</b>				講演時間 5分(発表3分、討論2分)
<b>Pier-12-2 clinical controversies 2</b>				
座長: 藤井 正純				
21:25~21:30	P12-2-1	齋藤 太一	上顎洞の粘膜肥厚の合併は神経膠腫症例に多く膠芽腫症例においては予後不良因子である	
21:30~21:35	P12-2-2	川端 信司	再発悪性神経膠腫に対する加速器中性子源を用いたホウ素中性子捕捉療法の第2相試験	
21:35~21:40	P12-2-3	馬場 史郎	脳腫瘍手術におけるKINEVO 900の4K3D Exoscopeとしての役割	
21:40~21:45	P12-2-4	深見 真二郎	悪性神経膠腫に対する光線力学的療法後再発の検討	
21:45~21:50	P12-2-5	塚本 佳広	当科での悪性神経膠腫への術中光線力学的療法の初期成績	